

令和6年度 第2回 坂井西警察署協議会 開催結果

1 日時
令和6年7月3日（水）午後3時00分から

2 場所
坂井西警察署

3 出席者
(1) 協議会委員 4名
(2) 坂井西警察署 署長以下7名



4 内容
(1) 協議会会長挨拶
(2) 警察署長挨拶
(3) 議事

ア 坂井西警察署の事務概況及び取組説明

イ 警察署長からの諮問

- (ア) 特殊詐欺等に対する総合対策
- (イ) 交通事故防止対策

ウ 質疑応答

5 質疑等

【委員】

坂井西警察署と東尋坊観光協会で実施していた東尋坊パトロールの今後の活動について、教えていただきたい。

【警察】

今後の活動は、地域住民の意見を基に決めていくことになる。

【委員】

コンビニ等に対して、刺股の使い方を指導することは防犯対策になると思う。

横断歩道付近における赤色のカラー舗装と段差設置の効果について教えていただきたい。

【警察】

小学校や銀行に対しては、刺股の使い方について指導している。コンビニに対しては、今後、働きかけて実施できないか検討したい。

管内においては、現在、通学路のカラー舗装の事業があることは把握している。

段差設置の横断歩道は、県内に2箇所あり、この施策は、ゾーン30プラスという生活道路対策の一環として行っている。

カラー舗装の効果については、視覚性に優れ、効果は高いといえる。

【委員】

特殊詐欺対策として、コンビニや銀行に対する防犯広報は効果的だと思う。管内の交通事故の傾向について教えていただきたい。

【警察】

コンビニや銀行などの事業所に対しても広報活動を実施しており、今後も対策、広報する必要がある。

本年、管内で発生した県外者が関わる物損事故は26件である。
事故形態は、出合頭や追突事故が多く、その他、狭い道での単独事故があった。

本年、管内で発生した人身事故11件のうち、県外者が関係する事故は1件で、北陸新幹線開業後、県外者が関わる人身事故は起きていない。

事故形態は、交差点での出合頭、追突事故が大半を占めている。

事故原因は、安全確認の不足によるものが多い。

【委員】

ふくいポリスのアプリを利用して、便利だと思っている。

ふくいポリスのアプリが浸透して、特殊詐欺防止につながることを期待している。